



海コン協 17-11-180
平成 29 年 12 月 1 日

会員各位

一般社団法人 海外コンサルタンツ協会
専務理事 高梨 寿

ECFA セミナー2017

「環境社会配慮ガイドラインセミナー(実務者編)」のご案内

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、国際協力機構（JICA）では2010年以降新たな「環境社会配慮ガイドライン」が施行されています。本ガイドラインは、円借款事業、無償事業、技術協力事業等の ODA 事業に加え、民間提案型 PPP インフラ事業調査等の事業についても適用され、ODA 事業全般に亘りこれまで以上にプロジェクトにおける社会環境面の配慮が重視されております。特に、戦略的環境アセスメント（SEA）の導入、ゼロオプションを含む代替案の検討、ステークホルダー協議、環境社会配慮助言委員会への説明等、業務プロセスにおいて多くの実施事項が追加され、途上国における環境社会配慮支援・確認の透明性・予測可能性・アカウンタビリティの確保が求められています。

このように、本ガイドライン施行に伴い、JICA 事業における環境社会配慮調査は大きな進展を見せている一方、同調査を担うコンサルタントの立場からは、実施する現場において新たな課題も生じております。

そこで、当協会では、本年4月に実施した「環境社会配慮ガイドライン（入門編）」に続き「実務者編」を JICA 審査部の方をお招きし開催することとなりました。昨年度同様、今回も JICA から環境社会配慮の観点から協力準備調査における実務や事業実施段階における実務等について、事例を基にご紹介いただくとともに、コンサルタント側からも現場で直面する本ガイドラインの問題点と課題について会員代表の方に発表いただきます。また、今回は JICA 環境社会配慮助言委員会の委員長でおられる東京工業大学の村山教授にもお越しいただき、皆様と助言委員会についての意見交換をさせていただく予定です。

ご多忙のことと存じますが、是非多数の実務者の皆様のご参加をお待ち申し上げます。本セミナーが、JICA ガイドラインの運用並びに環境社会配慮調査の一層の改善に資する一助となれば幸いと存じます。なお、上記のセミナーの目的から今回は環境社会配慮調査を実施したご経験のある実務者の方を主体に開催したいと存じます。よろしくお願い致します。

敬具

記

1. テーマ JICA 環境社会配慮ガイドラインセミナー（実務者編）
2. 内容 ①環境社会配慮における実務について（JICA 審査部）
②コンサルタントの事例発表（日本工営㈱）
③助言委員会について（村山委員長との意見交換）
3. 日程 2017年12月19日（火）13:30-15:30
4. 講師 東京工業大学 教授 村山武彦氏、JICA 審査部、日本工営㈱
5. 場所 当協会会議室（港区西新橋1-6-13 虎ノ門吉荒ビル7F）
6. 参加費 無料
7. 対象者 ECFA 会員（正会員、賛助会員、協力賛助会員）で、過去に環境社会配慮団員として従事された方（優先）
*今後団員として従事する可能性がある方は考慮致します。
8. 参加申込み 下記 URL にて必要事項を記載し、**12月15日（金）**までにお申込み願います。

URL: <http://www.ecfa.or.jp/kankyojitsumu171219.htm>